

## 特定プログラム説明書

開設学部等名〔 教育学部 〕

プログラムの名称	(和文) グローバル教員養成特定プログラム
	(英文) Fostering Globally-Minded Teachers
<p>1. 概要</p> <p>急速にグローバル化が進む現代社会において、教員には、子どもたちのグローバルマインドを育成できる資質や能力が求められている。特に、グローバル人材の育成や海外の大学進学等を主目的としたWWL（ワールド・ワイド・ラーニング）コンソーシアムの拠点校や国際バカロレア校の教員には、語学力はもとより、論理的な思考力・判断力・表現力・問題解決力など、グローバル社会に必要とされる資質や能力を身に付けさせる指導力が必要である。また、内なる国際化の進展により、日本の学校教育現場では、多様な言語的・文化的背景をもつ子どもたちが急激に増えており、第二外国語としての日本語教育や異文化間教育の視座から適切な指導・支援を行うことも求められている。</p> <p>このような背景のもと、学士課程における本プログラムでは、グローバルマインドを育成し、学習指導要領で示された各教科等について、英語を用いて、あるいは第二外国語としての日本語に配慮して、質の高い授業ができる教員を養成することをねらいとする。日本における教員免許状の取得（見込み）を基礎資格とし、高度な語学力の育成を図る科目や、英語で授業が実践できることを目指した科目、さらには批判的思考力、論理的表現力、コミュニケーション能力など、グローバルマインドの指導に関する科目群を設定している。本プログラムでは、海外の文化や教育の実態を理解するとともに、語学力の向上やチャレンジ精神の育成を促すため、本学が提供するプログラム等を活用した海外への留学を強く推奨する。</p> <p>本プログラムの修了者には、「修了証」が授与される。</p>	
<p>2. 到達目標</p> <p>本プログラムは、世界レベルで学力を捉え、変化の著しい日本社会においてグローバル化に対応し得る人材を育成できる教員を養成することを目的とし、国内外の小学校、中学校、高等学校、特別支援学校等の教員として、子どもたちのグローバルマインドを育成できる指導力の獲得を目指す。具体的には、次の4つの事項を目標とする。</p> <p>(1) グローバル人材に求められるチャレンジ精神やコミュニケーション能力の獲得</p> <p>(2) グローバル教育とそのカリキュラム、指導と学習、評価、専門職活動に関わる実際の理解</p> <p>(3) グローバルマインドの基本となる、多面的な視点による論理的な思考・議論の能力や態度を習得させるための指導方略についての理解</p> <p>(4) 英語を用いた、あるいは第二外国語としての日本語に配慮した指導計画の作成、教材研究、授業観察を通じたグローバル教員としての技能の習得</p>	
<p>3. 登録時期</p> <p>本プログラムの登録を希望する者は、原則として1年次第4ターム授業終了時に申請すること。また、希望者は履修期が1年次の授業科目を履修しておくこと。</p>	
<p>4. 登録要件</p> <p>TOEIC®公開テストまたは広島大学が実施するTOEIC®IPテストで500点以上、もしくは、これに相当する英語コミュニケーション能力を備えていることが望ましい。</p>	

#### 5. 受入上限数

20名程度とする。希望者が多数の場合、1年次終了時での成績（GPA）に基づき、履修登録者を決定する。

#### 6. 授業科目および授業内容

※ 授業科目は、別紙の履修表を参照すること。

※ 授業内容は、各年度に公開されるシラバスを参照すること。

#### 7. 修了要件

別紙の履修表に示す 9 科目以上の単位を修得していること。また、TOEIC®公開テストまたは広島大学が実施する TOEIC®IP テストで 730 点以上、もしくは、これに相当する英語コミュニケーション能力を備えていること。なお、本プログラムの修了は、教員免許状の取得（見込み）を前提とする。

#### 8. 責任体制

本プログラムにおける授業科目は、教育学部の教員によって担当される（非常勤講師を含む）。教育学部長を本プログラムの責任者とし、教育学部のグローバル教育コースが計画・実施・評価検討・対処にあたる。

#### 9. 既修得単位等の認定単位数等

##### （1）他大学等における既修得単位等の認定単位数等

原則として既修得単位等の認定は行わない。

##### （2）広島大学における既修得単位（科目等履修生として修得した単位を含む）の認定単位数等

原則として既修得単位等の認定は行わない。

#### **【特定プログラム履修に関する注意事項】**

○主専攻プログラムの授業時間割の関係で、登録した特定プログラムの授業科目履修が制限されることがある。

○特定プログラムで開設されている授業科目も、本学共通の平均評価点(GPA)の計算対象に含まれる。

グローバル教員養成特定プログラム履修表

科目区分	授業科目	単位数	履修期	履修区分	要習得単位数	備考	
						授業の方法	授業時間
育成科目A グローバルマインド	世界の教育・日本の教育	2	1年生 4ターム	必修	6	講義	30
	異文化間コミュニケーション入門	2	1年生 2ターム	必修		講義	30
	教育とグローバルマインド <sup>(1)</sup>	2	2年生 3セメ(集中)	必修		講義	30
教育実習	グローバル教育観察実習 <sup>(1)</sup>	2	2年生 3, 4セメ(集中)	必修	2	実習	30
にカリキュラムに関する科目	IS教科書基礎研究	2	2年生2ターム	必修	6	演習	30
	英語授業の計画と指導	2	3年生 6セメ(集中)	必修		演習	30
	異文化間教育のためのマイクロティーチング	2	3年生 6セメ(集中)	必修		演習	30
育成科目B グローバルマインド	Multiculturalism in Education <sup>(2)</sup>	2	1-4年生 3ターム	選択必修	4	講義	30
	国際的視座におけるポジティブ教育	2	1-4年生 2ターム	選択必修		講義	30
	教育における宗教文化と倫理	2	1-4年生 3ターム	選択必修		講義	30
英科目基礎	教育の英語基本用語Ⅰ <sup>(3)</sup>	1	1年生 1, 2ターム	自由 選択	(0)	演習	30
	教育の英語基本用語Ⅱ <sup>(3)</sup>	1	1年生 3, 4ターム			演習	30
	教科書の英語表現Ⅰ <sup>(3)</sup>	1	2年生 1, 2ターム			演習	30
	教科書の英語表現Ⅱ	1	2年生 3, 4ターム			演習	30
異文化体験科目	海外フィールドスタディ <sup>(2)</sup>	2	1年生 1セメ・2セメ	自由 選択	(0)	講義・ 演習	30
留海外	グローバル教員養成演習 <sup>(4)</sup>	2	1年生 3ターム以降	自由 選択	(0)	演習	
合 計					18		

備考

- (1) 本学部のミシガン州立大学留学プログラムを利用した単位認定を行う場合は履修期を限定しない。
- (2) 教養教育科目の一つである。
- (3) オンデマンド学習である。
- (4) 本学が提供する留学プログラム等を活用した海外への留学を強く推奨する。